

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	藤岡市における住みよいまちづくりのための未普及対策（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	藤岡市														
計画の目標	下水道未普及地域を解消することにより、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図り、快適な暮らしを創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		673	A	673	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成30年度	令和2年度末	令和4年度末
1	下水道処理人口普及率を32%（H30）から34%（R4）に向上させる。			
	下水道処理人口普及率	32%	33%	34%
	下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）			
2	汚水処理人口普及率を65%（H30）から80%（R4）に向上させる。			
	汚水処理人口普及率	65%	75%	80%
	汚水処理施設を利用できる人口（人） / 総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	藤岡市	直接	藤岡市	管渠（ 污水）	新設	第1処理分区（A1-1）	污水管 200 L=1,300m	藤岡市						88		策定済
	A07-002	下水道	一般	藤岡市	直接	藤岡市	管渠（ 污水）	新設	第3処理分区（A1-2）	污水管 200 L=3,000m	藤岡市						223		策定済
	A07-003	下水道	一般	藤岡市	直接	藤岡市	管渠（ 污水）	新設	第4-3処理分区（A1-3）	污水管 200~350 L=3,000m	藤岡市						223		策定済
	A07-004	下水道	一般	藤岡市	直接	藤岡市	管渠（ 污水）	新設	第4-2処理分区（A1-4）	污水管 200 L=2,800m	藤岡市						109		策定済
	A07-005	下水道	一般	藤岡市	直接	藤岡市	管渠（ 污水）	新設	計画策定及び検討業務	計画策定及び検討に係る資料 分析等	藤岡市						30		策定済
											小計						673		
										合計						673			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
藤岡市で実施する。	令和5年9月
	公表の方法
	市のホームページで公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道処理人口普及率、汚水処理人口普及率、共に若干ではあるが伸びが見られ、下水道の整備により未普及地区の解消が図られた。 これにより、河川等の水質改善に寄与できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
未普及地区を解消を目的に下水道の整備を引き続き進めて行く。 また、市民の快適な生活環境の向上につなげたい。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	34%	市街地の人口減と他事業（都市計画事業や地下埋設物）との進捗や調整により下水道整備が遅れている。
	最 終 実績値	32%	
2	汚水処理人口普及率		
	最 終 目標値	80%	市街地の人口減と他事業（都市計画事業や地下埋設物）との進捗や調整により下水道整備が遅れている。
	最 終 実績値	73%	